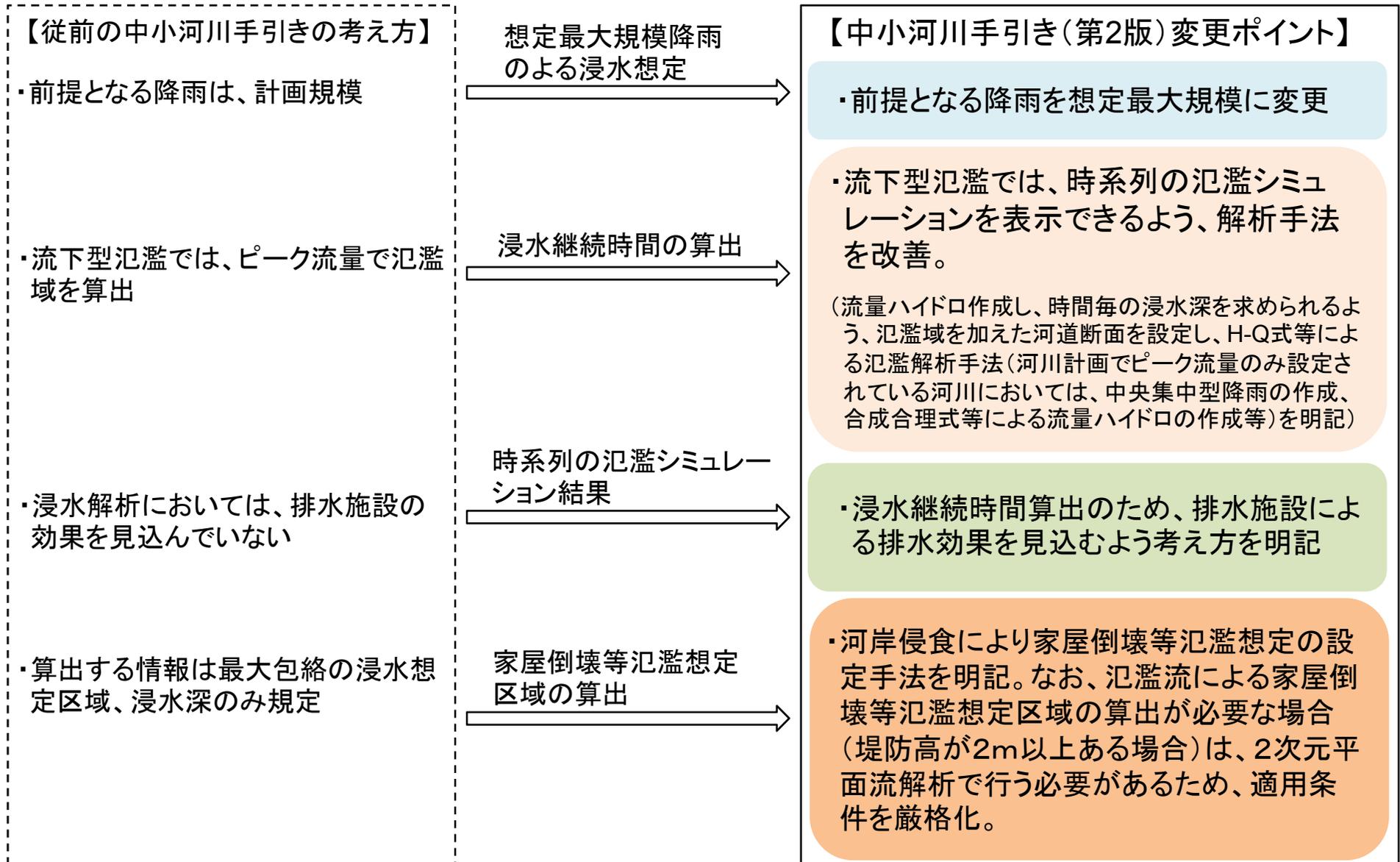


背景 H27水防法改正、「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方」答申を踏まえ、
中小河川における氾濫解析手法等の見直しが必要



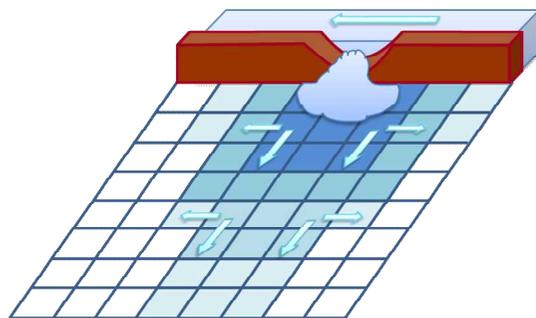
氾濫解析手法について

標準的な解析手法

- ・浸水想定区域
- ・浸水深
- ・浸水継続時間
- ・家屋倒壊等氾濫想定区域の算出にあたり、標準的な氾濫解析手法として、2次元平面流解析による手法を提示

洪水浸水想定区域図作成
マニュアル(第4版)
【2次元平面流による解析】

氾濫水の流れを、1メッシュ毎に運動方程式に基づく数値シミュレーションを実施し解析



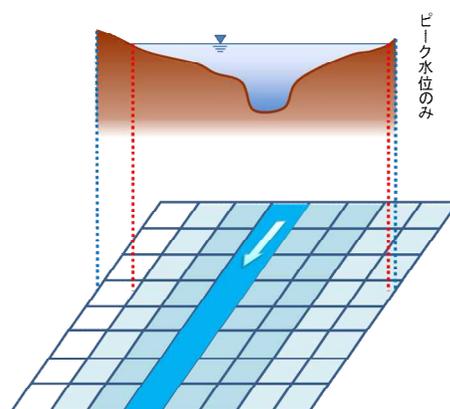
簡便な解析手法

2次元平面流解析には時間を要することから
中小河川において簡便な解析手法を示した
「中小河川洪水浸水想定区域図作成の手引き」を作成

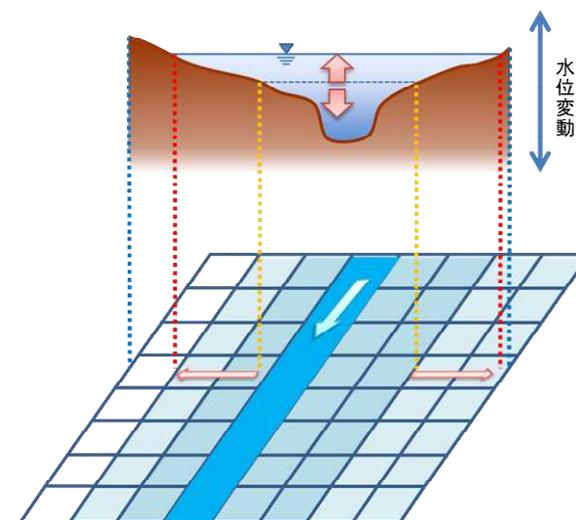
中小河川洪水浸水想定区域図作成の手引き(第2版)
【池モデル等による解析】

- ・浸水継続時間
- ・時系列の氾濫シミュレーション結果が必要

従前の手引きでは
ピーク水位のみで氾濫域を算出



第2版では水位の上昇・下降にあわせて
氾濫域を時系列的に算出



- 平成27年水防法改正及び平成27年9月関東・東北豪雨災害を踏まえ、「中小河川浸水想定区域図作成の手引き」(平成17年6月)を改定する。
 - ✓ 総説
 - 家屋倒壊等氾濫想定区域の算出や時系列氾濫シミュレーションの公表が必要となることから適用範囲を厳格化
 - ✓ 想定最大規模降雨の導入に伴う修正
 - 浸水解析に用いる降雨を、従来の計画降雨から想定最大規模降雨に変更
 - 想定最大規模降雨以外の規模の降雨(計画規模を含む)による浸水解析の実施について記載
 - 河口部の出発水位は、そのピークを計画高潮位とするよう明記
 - ✓ 氾濫解析
 - 流下型氾濫では、従前のピーク流量による解析から流量ハイドロによる解析に変更
 - ✓ 家屋倒壊等氾濫想定区域の設定
 - 家屋倒壊等氾濫想定区域設定手法を記載
 - ✓ 浸水継続時間の設定
 - 浸水継続時間の設定手法を記載
 - ✓ 電子化ガイドラインの改定及び電子データ高度利用のため、電子データの扱いの記述追加
 - 保存するデータの種類や時間間隔についての記述を明示
 - 国土地理院への提供やその方法、Webでの公開について記載
 - ✓ 水防法改正に伴う用語等修正
 - 「浸水想定区域」⇒「洪水浸水想定区域」(手引きタイトル含む)、参照条文変更ほか